

会 議 録

会議の名称		令和6年度第1回守谷市地域公共交通活性化協議会		
開催日時		令和6年6月26日（水） 開会：午後2時　閉会：午後4時10分		
開催場所		市役所　議会棟1階　大会議室		
事務局(担当課)		都市整備部　都市計画課		
出席者	委　員	佐野委員、有原委員、佐藤委員、小路委員、梶澤委員、中島委員、寺田委員、宮野入委員、泉委員、橋本委員、小菅委員、根本代理、小堀委員、鶴町委員、服部委員、廣瀬委員、片山代理、谷田部代理、石塚委員、浅野委員 以上　20名		
	市職員	宮坂副市長、笠川課長、下村係長、平井主任、仲島主任、中野主事 以上　6名		
公開・非公開の状況		☒ 公開 ☐ 非公開 ☐ 一部公開	傍聴者数	2名
公開不可の場合はその理由				

会議次第	1	開会	
	2	会長あいさつ	
	3	副市長あいさつ	
	4	委嘱状交付	
	5	新委員紹介	
	6	議事	
	(1)	協議事項	
	議案第1号	令和5年度事業実績及び収支決算について	
	議案第2号	令和6年度事業計画(案)及び収支予算(案)について	
	議案第3号	令和7年度守谷市地域内フィーダー系統確保維持計画(案)について	
	(2)	報告事項	
	報告第1号	令和6年度中学3年生向けお試し乗車券付きリーフレットの配布に関する運賃変更について	
	報告第2号	守谷市商工まつり開催に伴うモコバス無料デーの実施について	
	報告第3号	令和5年度公共交通利用実績(デマンド及びモコバス)について	
	報告第4号	高齢者運転免許自主返納事業実績報告について	
	7	その他	
	8	閉会	
確定年月日		会議録署名	
令和6年8月19日		中島 伸一	

審 議 経 過

1 開会

2 会長あいさつ

3 副市長あいさつ

4 委嘱状交付

5 新委員紹介

6 議事

(1) 協議事項

- 議案第1号 令和5年度事業実績及び収支決算について
【事務局から説明】

○意見・質問等
特になし

【採決の結果、全員賛成により承認】

- 議案第2号 令和6年度事業計画（案）及び収支予算（案）について
【事務局から説明】

○意見・質問等

橋本委員：公的負担が上がっているが、要因は。

事務局：人件費の増額及び物価上昇分を含めて算出している。デマンド乗合交通に関しては、今まで価格を据置いていたが、増分も含んでいる。

小菅委員：増えた部分について、事務局ではどう考えているのか。

事務局：交通の空白を埋めるための公共交通である。限られた予算の中でできる限りのことをやっている。先程も申し上げたが、人件費等の上昇分も含めて、この協議会で一緒に考えていくものだと思っている。

小菅委員：需要と供給を考えていかなければならない。

事務局：予算的なものもあるが、あくまで、公共交通を考えていくには、需要がないから無くすということを表に出すことは難しい。公共交通を知ってもらい、使ってもらうことを考えていきたい。

小菅委員：予算的なものを含め、各自治体の状況は概ね把握している。その中で今後市としてどのように考えているのかを教えてください。

事務局：公共交通を維持する中で各種の案を議会に挙げていきながら、予算の確保に努めたいが、上限はある。上限を踏まえた中で運用する必要があるが、現在では自動運転など新たなものも出てきているので機運が高まった時点で提案を行い、協議会でも議論いただきたいと考えている。

小 路 委 員：運行システム改修及び車両の大型化を挙げているが、これはどのくらいの時間をかけるのか。よくあるのが、会議に出たらもうそれは決まっていて、決を採るだけということが多い。

事 務 局：現在、デマンド乗合交通の乗合率向上を考えている。システムの改修や車両の大型化について、乗合率の向上になるのか実証・検証したい。今年いっぱい時間をかけながら、協議会での報告等を行いつつ検討する。

【採決の結果、全員賛成により承認】

●議案第3号 令和7年度守谷市地域内フィーダー系統確保維持計画（案）
について

【事務局から説明】

○意見・質問等

小 路 委 員：運行回数に関して、約16000件程度かと思うが、人数を見ると1便当たり1人少しであると感じるが、どのくらいの計算なのか。また、そう考えると乗合率が低く効率的に運べていないような気がするが、そのあたりの実態はどうなのか。また、その改善策について考えていることはあるか。

事 務 局：乗合率については、令和6年5月のデータでは32.8%である。現在のままでは乗合率の改善は難しいため、事業計画でお示しした通り、システムの機能改修や車両の大型化などをすることで改善できないか今年度検討させていただくこととしている。

小 路 委 員：以前、予約しようと思ってもできないという話を聞いたことがあるが、満員が理由ではなく経路上周れなかったということか。乗れなかった人がいる一方で1便当たり1人ちょっとということは、運行の周り方について課題があるように感じるが、そのあたりも踏まえて検討するということか。

事 務 局：デマンド乗合交通では利用の時間が偏る傾向がある。最も行先として多いのが病院のため、病院の時間に合わせて行きたいという方が多く、お断りが出てくる。この時間帯をより効率的に動けないか機能改修や大型化を含めて検討する。予約センターでも、その時間帯が予約できない場合、時間をずらせば取得できると案内している。それにより利用が可能になる場合もあるので、まずは偏りがある時間帯でどのように効率化できるか、また利用者が時間をずらしてくれるような案内を考えていく。

中 島 会 長：地域を集約するような方法として、AIもあるが今はCHATGPTを使用すれば検索もうまくできるほか、電話で聞いたことも文章化できる。それを踏まえると費用は掛かるがそれを導入することにより、地域が近ければ乗合にできる可能性があるのではと考えている。基本的には前もって予約すると思うので、住所や時間をサーチしてお互い乗合してよいか尋ねることができれば、お断りが減るの

ではないかと考えている。意見の1つとして考えていただきたい。

【採決の結果、全員賛成により承認】

(2) 報告事項

- 報告第1号 令和6年度中学3年生向けお試し乗車券付きリーフレットの配布に関する運賃変更について
- 報告第2号 守谷市商工まつり開催に伴うモコバス無料デーの実施について
- 報告第3号 令和5年度公共交通利用実績（デマンド及びモコバス）について
- 報告第4号 高齢者運転免許自主返納事業実績報告について
【事務局から説明】

○意見・質問等

小 菅 委 員：事務局として、今年度の数字はどう考えるか。昨年度の実績を受けて、どのようなことが問題点であったか。

事 務 局：令和5年度はモコバスの乗車数が一番多かった。デマンド乗合交通については、お断りの件数が多くなってきているので解消していきたい。

小 菅 委 員：デマンド乗合交通はやはり高齢者が多い。お断り件数が多いのは課題である。モコバスの比較年度はもう少し遡るとわかりやすい。

事 務 局：承知した。

宮野入委員：お断り件数は11時ごろまでが多い。一般のタクシー会社も予約はひっ迫しているのか。もしそうでないのであれば、お断りした方に利用してもらえばいいと考える。割引制度のようなものはあるのか。

片 山 代 理：その時間帯であればひっ迫はしていないが、デマンドとの連携は現在行っておらず、お断りの状況なども把握していないので、割引等は検討していない。

事 務 局：一般のタクシーを利用するときの割引制度はない。差額分を市が保障・補助することはできない。

橋 本 委 員：高齢者運転免許自主返納で利用券をどのくらい使っているか、市は把握しているのか

事 務 局：利用枚数の集計はしているが、交付した利用者がそのうち何枚使用したかについては集計していない。

橋 本 委 員：使用率が少なければ勿体なく感じる。有効期限はあるのか。

事 務 局：有効期限は設けていない。古い利用券であっても、希望があれば新しい利用券に変更することは可能である。

7 その他

事務局：デマンド乗合交通において、乳児等の計算方法について、協議いただきたい。

泉 委 員：同伴の乳児はカウントした方がいい。同伴は認めるという意見である。

梶 澤 委 員：同伴はある程度は認めてよいが、何でもかんでも認めるわけにはいかない。

事務局：現状として、予約センターで人数の制限としてお断りしている状況である。

浅 野 委 員：デマンド乗合交通と一般タクシーとは区別して考えなくてはならない。タクシーと同じように使いたいとの意見だと思うが、乗合的にはおかしいのではないか。

橋 本 委 員：乗合の利用率を上げるとの観点であれば、人数の解釈を広げるべきではないと考える。一般のタクシーがある以上、全部を乗合で補完しようとするのは無理がある。タクシーやバスの収益の圧迫につながる。ほかの自治体ではどうしているか、事務局で調べてはどうか。

片 山 代 理：乳幼児を認めるのであれば、ベビーカーの積込み等が出てくる。その際、他のお客様の荷物は積込み出来ない事態になると考える。介助者としての役割としてのみ認めている以上、広げて考えるのはどうかと思う。安全面からも、慎重に考えるべきである。

中 島 会 長：デマンド乗合交通のあり方として、どう考えるのか。

事務局：市としては、デマンド乗合交通は好評をいただいていると考える。ただし、タクシー事業ではない。ある程度のご不便をかけるのは致し方ないし、それをご理解の上のご利用であると考えている。一般タクシー会社に対し、民営圧迫するわけにはいかない。

寺 田 委 員：デマンド乗合交通を2種類で考えてみてはどうか。一つは、病院や買い物等、ある程度のルートを決めて運行する。もう一つは、年齢に関係なく一般のタクシーを利用し、割引制度等を考えてみるのはいかがか。

中 島 会 長：事務局は、決を採るのか。

事務局：近隣自治体を含め、もう少し調査し、また協議会で相談したい。

中 島 会 長：皆さんは、それでよろしいか。

【異議なし】

事務局：ライドシェアについて服部委員から報告がある。

【服部委員より説明】

中 島 会 長：他に無いか。

事務局：次回の協議会は1月頃に開催する予定であるが、それまでに協議事項が発生した場合は、その都度開催通知を送らせていただく。

8 閉会